



平成 30 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 綜研化学株式会社
代表者名 代表取締役社長 逢坂 紀行
(コード番号 4972)
問合せ先 執行役員経営管理部長 滝澤 清隆
(TEL 03-3983-3268)

中期経営計画の数値目標修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月 28 日付で公表しました中期経営計画「New Value 2019」の最終年度である 2019 年度の数値目標を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 修正の内容

(単位：億円)

	2019 年度 修正前 (A)	2019 年度 修正後 (B)	2019 年度 増減 (B - A)
連結売上高	310	340	30
連結営業利益 (売上高営業利益率)	30 (9.7%)	30 (8.8%)	— (△0.9ポイント)
ROA	8%以上	8%以上	—
ROE	9%以上	9%以上	—

【セグメント別売上高】

	2019 年度 修正前 (A)	2019 年度 修正後 (B)	2019 年度 増減 (B - A)
ケミカルズ	281	305	24
粘着剤	150	170	20
微粉体	34	34	—
特殊機能材	31	38	7
加工製品	60	63	3
ナノインプリント (注)	6	—	△6
装置システム	29	35	6

(注) ナノインプリントの売上高は、2018 年度から事業統合した加工製品に含めております。

【投資計画 2017～2019 年度】

投資計画の変更はありません。

設備投資	55
成長投資枠	30

2. 修正の理由

当社グループは、アジア地域における存在感を高め、持続的な成長路線の確立を目指す3ヵ年の中期経営計画「New Value 2019」（2017年度～2019年度）で掲げた数値目標の達成に向けて取り組んでおりますが、2017年度の業績が計画初年度の想定を上回ったことを踏まえて、数値目標を修正いたしました。

売上高については、中国での液晶ディスプレイ関連分野を中心としたケミカルズの販売拡大、堅調な国内設備投資を背景とした装置システムの受注増を見込み、上方修正いたしました。一方、営業利益については、原料価格の上昇による減益影響に加えて、生産能力増強に伴う減価償却費の増加、新規事業開発費用の増加などを見込み、当初の目標値を据え置いております。

なお、中期経営計画で掲げた基本戦略につきましては変更ありません。引き続き、中国地域を中心に事業規模の拡大と収益性の向上を図り、革新的な材料・技術開発による事業領域の拡大を目指してまいります。

※ 本資料に記載されている将来に関する内容は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、その実現や達成を保証するものではありません。

以上